

令和元年 6 月 5 日

第 1 回学校評議員会 議事録

1 日 時 令和元年 6 月 4 日（火） 18：30～19：40

2 会 場 北海道鶴川高等学校 進路会議室

3 出席者 評議員：奥村誠治様、小山内恵子様、木澤省司様、工藤弘様、森文男様
学校側：山崎校長、前川教頭、片岡事務長
堺企画総務部長、小澤教務部長、石田生徒指導部長、
武内進路指導部長

4 内 容

- (1) 委嘱状交付
- (2) 校長挨拶
- (3) 自己紹介
- (4) 学校経営方針説明（校長）
- (5) 学校概況説明（教頭）
- (6) 各分掌等の取組説明（分掌部長）
- (7) 質疑応答・意見交換 ※以下、その内容。

評議員：先生方は本当によくやってくれている。
今年の生徒はどうか。

学校側：今年入学した 1 年生は落ち着いており、朝の玄関指導で見ている、生徒たちから先生方へ積極的に挨拶できる生徒が多い。

評議員：3 月の卒業式に出席したが、入学時より卒業時の生徒数がかなり減っていた。
退学、転学した生徒の背景は。

学校側：特別指導が積み重なって学習環境を変えた生徒もいれば、コミュニケーションスキルが低くて学校不適應になり去って行った生徒もいた。今後も引き続き、心の教育やコミュニケーションスキルの育成に取り組んでいきたい。

評議員：今後も生徒自身が鶴川高校で学ぶことを誇りに思える教育を進めていって欲しい。

評議員：学校からの説明を聞き、先生方が多くのことに取り組んでいる反面、しっかり休めているのか心配である。働き方改革を進めて、先生方がゆとりを持って教育活動にあたれるようにして欲しい。

また企業に来てもらい講義等をしてもらうのは高く評価する。

生徒はコミュニケーションスキルが備わっていない部分も見えるので、そのスキルを磨いていって欲しい。生徒が気楽に会話ができるようにもなって欲しい。

評議員：先生方には今日説明のあった教育活動に頑張って取り組んで欲しい。

評議員：地元の選挙管理委員を務めている。7 月には参議院選挙があり、高校 3 年生も有権者となる生徒が出てくるので、投票所に足を運べるよう、主権者教育を進めていって欲しい。

評議員：学校の取組の多さに驚いている。

心の教育として、認め合う心、肯定する心を育てていって欲しい。

また、コミュニケーションスキルが高い子が社会に出ても自分で伸びていくと思うので、その力を身に付けさせていった欲しい。

そして「学校が好き、友達も好き、先生も好き」という生徒を増やして欲しい。

評議員：説明を聞き、「地域」という言葉がたくさん出てきていた。時代は変われども地域の大切さは変わらない。先日、鶴川中・鶴川高の吹奏楽部が町内会のイベントで演奏してくれたが、立派な地域活動である。そのような取組に対し、感謝の気持ちを持っている。

学校側：皆様の貴重な御意見を参考にさせていただきながら、本年度も教育活動を展開していきたい。

(8) 次回の学校評議員会について(3月10日を予定)

(9) 校長挨拶